

令和元年(2019年)5月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2019年5月 数量 (トン)	2019年5月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野菜	人参	徳島県産、千葉県産中心の入荷でした。徳島県産は前進出荷で推移し、千葉県産の出荷が遅れた影響により、数量はやや減少しました。単価は安く推移しました。	707	124	96%	89%
2		キャベツ	上旬は神奈川(三浦)県産、下旬は千葉(銚子)県産中心の入荷でした。低温や乾燥の影響により数量はやや減少しました。単価はかなり高く推移しました。	974	97	96%	150%
3		トマト	熊本県産等、西南暖地の豊作により順調な入荷となり、数量は増加しました。単価はやや安く推移しました。	585	226	121%	92%
4		レタス	茨城県産中心の入荷でした。茨城県産は大玉傾向の入荷でしたが、他県産は玉伸びせず、数量はかなり減少しました。単価はかなり安く推移しました。	259	173	75%	100%
5		馬鈴薯	4月後半の長雨の影響により収穫が遅れ、上旬の入荷量が少なく、数量は減少しました。単価は高く推移しました。	329	143	86%	115%
6	果実	甘夏	鹿児島県産及び熊本県産の生産量増による順調な入荷により、数量は大幅に増加しました。単価はやや安く推移しました。	87	205	156%	95%
7		アンデス	茨城県産、熊本県産中心の入荷でした。天候に恵まれ、前進出荷となり数量は増加しました。単価はやや安く推移しました。	43	504	111%	94%
8		いちご	あまおう、やよいひめの入荷は順調でしたが、全体的には気温上昇に伴う品質低下の影響から、入荷量はやや減少しました。単価はやや高く推移しました。	99	955	96%	103%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上